

新学術領域研究班

「ウイルス感染現象における 宿主細胞コンピテンシーの分子基盤」

ワークショップ

“Toward challenges for virus-host interactions”

日時 平成 29 年 10 月 27 日 (金) 9 時 45 分 から 18 時

場所 大阪大学微生物病研究所 融合型生命科学総合研究棟 1 階 谷口記念講堂

領域代表挨拶 9:45-10:00

永田恭介 筑波大学

Session 1 10:00-12:00

- 構造生物学的手法により解き明かす RNA ウイルスの細胞侵入およびその阻害機構
橋口 隆生 九州大学・大学院医学研究院・ウイルス学
- ウイルスタンパク質の細胞内輸送制御
森川裕子 北里大学・北里生命科学研究所・大学院感染制御科学府
- 転写型インフルエンザウイルスポリメラーゼの生化学的・構造生物学的解析
川口敦史 筑波大学・医学医療系
- ヘルペスウイルスは如何に宿主細胞機構をハイジャックするか？—最新の知見
川口 寧 東京大学医科学研究所・ウイルス病態制御分野

Lunch break 12:00-13:00

Session 2 13:00-14:30

- ペア型レセプターを介した感染制御機構
荒瀬尚 大阪大学 微生物病研究所 免疫化学分野
- ウイルスリポペプチドを標的とした新しい CTL 応答
杉田昌彦 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 細胞制御分野
- ポルナウイルスの核内複製と共存進化における宿主コンピテンシー
朝長啓造 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 RNA ウイルス分野

Coffee break 14:30-14:45

Session 3 14:45-16:15

- Challenge to fusion of virus research and computational science (ウイルス研究と計算科学の融合への挑戦)
佐藤裕徳 国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター第二室
- Visual Analysis of Long Single-stranded RNA Structure
竹安 邦夫 京都大学大学院・生命科学研究所
- オミックス解析から明らかにする宿主感染コンピテンシー
夏目徹 産業技術総合研究所・創薬分子プロファイリング研究センター

Coffee break 16:15-16:30

Session 4 16:30-18:00

- パネルディスカッション “For the progress of future virological research”
俣野哲朗 国立感染症研究所・エイズセンター
川口敦史 筑波大学・医学医療系
橋口 隆生 九州大学・大学院医学研究院・ウイルス学